

名寄市立名寄東中学校 開校60周年



教育目標 (平成12年制定)

「ともに生き 明日を拓く 創造と実践」

- 優しく思いやる生徒
- 深く考える生徒
- たくましく鍛える生徒
- 誇り高くやり遂げる生徒

● 学校紹介 ●

本校は、昭和27年に名寄中学校から分離して、名寄東中学校として生徒数494人で開校しました。

その後、昭和38年に瑞穂中学校の廃校、昭和43年に智南中学校の廃校に伴う統合を経て今日に至ります。

現校舎は、昭和57年に現在の三愛病院の場所から移転し、平成18年に開学した名寄市立大学に隣接する静かな住宅街を校下としています。保護者および地域の方がたの教育活動に対する理解も深く、たいへん協力的です。「がんばる ねばる」を校訓に、今年度は開校60周年を迎えます。

伝統的な活動として、生徒会主催で除雪ボランティアを平成元年から続けており、名寄市から「ホワイトマスター」の称号が授与されています。平成23年にはソロプチミスト社会ボランティア賞を受賞し、全国表彰されました。

がんばるねばる

重点目標「たゆまず自己実現をめざす生徒の育成」

【本年度の特色ある教育活動】

基礎学力の定着と活用力の向上

- ◇全学年、数学・英語で週1～3時間、複数の教員で指導を行い、基礎・基本の定着を図ります。
- ◇基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着と、教科の特性を生かした言語活動の場を充実することで「伝えあう力」を引き出します。
- ◇「学習のきまり」「家庭学習の習慣」の定着や、NRTテスト・知能検査などの実施により客観的データを収集、活用しながら、意欲の向上と指導の工夫改善を図ります。
- ◇「学習の手引き」を発行し、学習の仕方を身につける指導を行います。

進路指導の充実

- ◇今年度から、3学年は「進路適正検査」、1・2学年は「進路相談」(希望制)を行い、きめ細かい進路指導を行います。

朝読書の継続

- ◇平成14年度から実施している朝読書。昨年同様に15分間の朝読書を行い、広い知識と豊かな感性を育てます。

いのちの授業の充実

- ◇「いのち」をキーワードとして、地域・人権・性問題・平和・環境などをテーマに、学び方やものの考え方を身につける指導を行います。

外部講師の積極的な活用

- ◇スキー授業・カーリング授業での外部講師を活用し、技術のさらなる向上を図ります。



吹奏楽



授業風景



除雪ボランティア

■このコーナーは「Airてっし」で6月4日(月)と13日(水)の午前と午後に放送します。